

卒業生座談会

文系



詰め込み教育ではなく自由に楽しく学べるSEG



ながしま かなこ
永島 加南子さん
東京大学文科Ⅰ類1年
(浦和明の星卒)



やまもと はな
山本 英奈さん
東京大学文科Ⅰ類1年
(白百合卒)



いかり しょうた
碓 翔太さん
東京大学文科Ⅲ類1年
(私) 芝卒)



きたばやし たく
北林 大空さん
一橋大学法学部1年
(私) 芝卒)

【司会】岡本 雄一 (SEG数学講師)

大学受験を見据えて 力をつけるためにSEGへ

岡本 今日はお集まりいただき、ありがとうございます。最初に自己紹介を兼ねてSEGに入った時期と、入塾のきっかけを教えてください。

碓 東京大学文科Ⅲ類1年の碓翔太です。出身は芝高校で、高1からSEGに通っていました。模試で数学の成績だけがものすごく悪かったため、数学だけは塾に通った方がいいと思い、数学が強いとされるSEGに通うことにしました。

北林 同じく芝高校出身で、一橋大学法学部1年の北林大空です。高1の春に父親の勧めでSEGに入塾しました。中高一貫校のため、それまでは学校の勉強しかしてきませんでしたが、そろそろ大学受験を見据えた勉強も始めた方がいいと考え、親に塾を探してもらうことにしました。数学は学校の定期テストでも赤点を取るくらいの成績でしたが、まずは塾に頼らずに自力で勉強して立て直そうと思って数学の受講は見送り、英語多読だけを受講することにしました。高3からは数学も受講しました。

山本 白百合学園高校出身の山本英奈といいます。東京大学文科I類の1年です。親の勧めで中1の冬からSEGの数学を受講し始めました。冬期講習の先生の解説が分かりやすかったのがとても印象的で、その講習のクラスにたまたま学校の友人がいたこともあり、心強く思い入塾しました。英語多読も中3から受講を始めました。

永島 東京大学文科I類1年の永島加南子です。出身高校は浦和明の星女子高校です。SEGに入塾したのは小学校を卒業する頃です。実は中学受験のときに第1～第3志望校まですべて落ちてしまい、かなり傷心していました。それだけに大学受験はしっかり準備して臨みたいと考え、いろいろな塾の体験授業を受けてみることにしました。その中でSEGの授業が一番自分に合っていました。詰め込み教育のような感じがまったくなく、自分で考える時間と、解説を聞いて納得する時間があり、さらに分かなければ、質問してちゃんと理解してから帰るという良いルーチンができそうだったため、SEGに決めました。

他塾にない自由な雰囲気の魅力 おかげで楽しく通うことができた

岡本 入塾したときのSEGの印象を聞かせてください。

碓 とても自由な印象があります。高1のときは井上先生に教わっており、問題が早く解けた人にお菓子を配ってくれることもありました。他塾にも通っていましたが、そうした自由な雰囲気は一切ありませんでした。そんな雰囲気が面白いというか、塾っぽくないというか、気軽に授業を受けられる環境がとても気に入りました。井上先生はクラス分けのときに成績が良かった順にプレゼントを配ってくださることもありましたが、それも勉強するモチベーションになった印象があります。おかげで、高1の1年間で数字の苦手意識がなくなり、得意科目とまではいかないにしても、数学を好きにはなれました。

北林 永島さんが話していたように、他の塾や予備校にありがちな、詰め込み学習のような空気がなく、自由でアットホームな雰囲気があるという印象でした。英語多読では教室に入った瞬間に、壁に洋書がズラリと並んでいる風景に驚き、強く印象に残ったことを覚えています。外国人の



先生の授業も、最初はゲームをしたり、映画を観たりといったような内容で、塾に通っているというよりは、英会話教室に来ているような楽しい空間でした。

山本 どの先生からも数学が本当に好きでたまらないという雰囲気が伝わってきました。そんな先生方の授業を受けることで、「数学って楽しいんだよ」ということを教えてもらえた感じがします。おかげで6年間楽しく通うことができました。

永島 光田先生の授業が印象的で、それが私のSEG生活の原点になっています。算数は見るのも嫌というくらい苦手だったのですが、中1～中3まで光田先生に教わることで、その苦手意識が薄らいだからです。先生は割と淡々と授業を進めていかれるのですが、そのためかどうか、数

学を考えることが楽しいと感じるようになりました。高3まで相変わらず数学は苦手でしたが、それでもSEGに行きたくないとか、数学をやりたいくないと思うようなことは一切なく、6年間通い続けられたことが一番嬉しいことでした。

岡本 SEG生活の原点とは、どういうことでしょうか。

永島 特に印象的なエピソードがあります。中3のとき「5日に1回復習しても忘れます」と、半ばふてくされた感じで光田先生に質問したことがあります。すると先生は「5日で忘れるなら、その間にもう1回やればいいし、1日おきに復習しても忘れるなら毎日やればいい」と答えてくださいました。考えてみれば当たり前のことなのですが、苦手だから、不器用だからと逃げるのではなく、自分の性質に

受験までの私の勉強法 永島 加南子さん

東京大学文科I類1年(浦和明の星卒)

質問項目

- 繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？
- 過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？
- 共通テスト対策としてしたことは？
- SEGの授業の予習・復習の仕方は？
- 学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？

科目	得意度指数	学習方法
数学	★	高2以前はSEGの勉強に加えて『1対1対応の演習』や『理系数学の良問プラチカ』を周回していましたが、高3以降は青本とクリーム本のみを周回しました。高3後半からはテストゼミや過去問で時間配分の練習、苦手分野の復習をしました。基礎を固めてどの問題も青本、クリーム本の類題として捉えられると良いと思います。困ったことがあれば先生に相談にのっていただきました。ただ数学は苦手だったので、得意な英国社3科目でカバーした感じです……。
英語	★★★★	1年前の時点で2次試験で80点くらい取れるようにはなっていました。本番では90点ほど取ることを目標にしました。何よりも一番大事なのは基礎固め(文法、英熟語、英単語)です。過去問演習だけでは伸びが頭打ちになると気づいてからは、高3でも基礎的な勉強を毎週コンスタントにしながら、過去問を大問別で解くなどして苦手な大問(要約など苦勞しました、リスニングはさぼると大変なことになります)を克服していきました。時間制限も厳しいので夏模試の前には時間配分を考えてみる時間を取ってみてもいいと思います。ただ受験直前まで基礎(文法、英熟語、英単語)の勉強はすべきです。
物理 化学	★	学校の成績は良かったのですが、完全に忘れていて高3の秋頃まで完全に放置してしまい焦りました。忘れてしまっても構わないので、共通テスト模試のために直前に勉強して身につけると楽だと思います。
国語	★★★★	現代文はフィーリングに頼らず本文中に根拠を見つけて、それらと本文の論理関係を補完しながらまとめる、ができれば相対的な出来具合はおれないはず。変な癖をつけずに正しい思考回路を身につけましょう。後回しにしがちですが現代文は2週間に1回は最低やって忘れないようにしました。練習材料は基本、東大過去問だけがいいです。模試は質が悪いものも多いです。古漢は単語、文法をがっちり固めてあとは文章をたくさん読んで慣れましょう。古漢は高2までに得意にできるというですね(反省を込めて)。
世界史	★★★★	センター模試やセンター過去問を目安に、暗記を進めました。世界史は一気にやる、短期集中が有効です。高1終わりから高2初夏にかけて通史を一気に終わらせ、ひたすら『一問一答』と『時代と流れで覚える! 世界史B用語』で暗記しました。センターで8割取れるようになってから東大の第2問と第3問の過去問を27カ年すべて一気にやりながら、教科書(山川)に出題されたところをマークしました。そのあとマーク箇所をフレーズごと覚えるつもりで精読を何周も受験直前までしました。第1問は教えるのがうまくて信用できる先生についていきました。
日本史	★★★★	世界史同様センター過去問を目安に暗記しました。問題文から主題と付帯条件、視点、因果関係を汲みとってそれらに答える形で条件文の要素を余さず、解釈を加えて使うことを練習しました。私は高3の12月まで上記の思考回路が身につかず苦しみましたが、基礎の勉強と添削、リライトをくり返したところ、直前に急激にできるようになりました。練習材料は東大の過去問が一番です。

※表中に出てくる「青本」はSEG高2冬期～高3春期の数学のテキスト、「クリーム本」はSEG高3・4-6月期の数学のテキストです。

合わせて取り組むことが大切なのだと、改めて気づかされた瞬間でした。これはどの科目にも共通して言えることですから、以後は受験期まで常にそのことを意識するようにしていました。

岡本 中高一貫校のついつい弛みがちな中3の段階で、そういうアドバイスをもらえたのは良かったですね。

受験に直結する力が得られ 論理的な思考力も鍛えられた

岡本 他に印象に残っている授業や先生があれば、いくつかも教えてください。

碓 岡本先生の授業は、問題を解くだけでなく、その背景にあることまで含めて教えてください、しかもとても楽しそうに問題を解いていらっしゃいます。僕は数学アレル

ギーというか、数字ばかり見ていると嫌になってくる方でしたが、先生の授業を受けることで、一緒になって数学を楽しむことができるようになりました。おかげで本番でも、数学の成績が一番良かったほど力がつきました。

北林 SEGというと「理数系の塾」、英語は「多読」というイメージがあると思うのですが、僕の場合は、高2からお世話になった英語の精読パートの渡辺卓幹先生の授業が一番好きでした。ユーモアがあって、知識も豊富で、英文のテーマに関する小話なども面白くて、外国人パートではないにもかかわらず、主体的に参加したくなるような授業でした。また、高3からお世話になった数学の千葉先生の授業もよく覚えています。クリーム本とテストゼミの授業でしたから、どちらかといえばSEGらしい授業というよりは、受験数学に特化したような授業でしたが、いろいろな解法を教えてください、数学が苦手な自分にとっては、とても分かりやすい授業だったと思います。

受験までの私の勉強法 山本 英奈さん

東京大学文科I類 1年(白百合卒)

- 質問項目**
- ① 繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？
 - ② 過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？
 - ③ 共通テスト対策としてしたことは？
 - ④ SEGの授業の予習・復習の仕方は？

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 解き方が分からない問題がなくなることを目標に、クリーム本を繰り返し解きました。 ② 共通テスト後に『東大数学で1点でも多く取る方法』を使って13年分解きました。 ③ 共通テストの予想問題とセンターの過去問を使って、ひたすら本番と同じように解く練習をしました。 ④ テスト演習で間違えた問題を解き直していました。クリーム本もあわせて復習していました。
英語	★★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 長文読解は『英語長文問題精講』を1学期に解いていました。リスニングは『キムタツの東大英語リスニング』を11月くらいから使っていました。リスニング力がとてもついたのでオススメです。単語は『鉄壁』を何周もして覚えました。 ② 過去問は、結局共通テスト後に3年分くらい解いただけでした。直前期も他塾のテキストや自分のノートを復習していました。 ③ 共通テストの予想問題を数回解いただけでした。共通テスト直前は英語の時間を歴史、理科基礎にまわしていました。
国語	★	<ol style="list-style-type: none"> ① 現代文は通っていた個人塾のテキストを使っていました。古文漢文は『新しい古典文法』、『新明説漢文』を使って文法を覚えました。個人的には問題をやたら解くより文法書を繰り返し音読した方が、文法が定着して有益だった気がします。 ② 共通テスト後に現代文は5年分ほど、古文漢文は15年分ほど解きました。 ③ 共通テストの予想問題とセンターの過去問を使って、ひたすら本番と同じように解く練習をしました。『入試 漢字マスター 1800+』を使って漢字の暗記にも力を入れました。
世界史	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 通っていた世界史の塾のプリントを繰り返し復習して覚えました。 ② 塾の講習で25年～30年分解きました。 ③ 塾のプリントを満遍なく復習していました。ときどき過去問を解いて共通テストの出題傾向を知っておくことも大事です。
日本史	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 『日本史B講義の実況中継』を繰り返し見て覚えました。 ② 共通テスト後に7年分くらい解き、添削してもらっていました。 ③ 『日本史B講義の実況中継』を見て覚えながら過去問も解いていました。

山本 数学を習ったのは伴先生と岡本先生で、お二人はとてもお世話になりました。伴先生は板書がきれいで、説明も分かりやすかったため、数学がそんなに得意ではない私でも理解しやすい授業でした。その後、高2から文系に進んだときに岡本先生にお世話になったのですが、そこからは岡本先生のストイックさに鍛えられて(笑)、それもとてもありがたかったです。

岡本 かなりスパルタでやっていたからね。

永島 私も高校時代は、岡本先生の授業が一番印象に残っています。SEGのおかげで中学の間に数学を「苦手だけど嫌いではなく、考えるのは好き」という状態にいただき、高2の冬からの岡本先生の授業で、受験において必要な数学の解法や時間配分などをすべて教えてもらえ、受験に直結する力をいただきました。

岡本 SEGの授業が受験に役立ったという嬉しい報告をいくつもいただきましたが、具体的にSEGでどんな力が身についたと感じていますか。

碓 やはり一番苦手な数学が克服でき、一番得点を取れる科目になったので、そこが一番かなと思っています。

北林 僕の場合は英語の読解力です。最終的には5~6万語といった分厚い洋書まで読めるようになったため、

長文に対する抵抗がなくなったことが一番大きかったと思います。大学に入ってから結構大量の英文を読む機会が多く、今も直接役立っています。

山本 数学に関していえば、公式を暗記しないというか、ちゃんとその公式を理解してから使おうとする意識を養ったことだと思っています。

岡本 口でいうのは簡単ですが、なかなか実践するのは難しいことですよね。時間をかけてじっくりと努力をされたのでしょうか。

永島 現在、法律の勉強、予備試験と司法試験の勉強をしているのですが、数学と法律は考え方が結構似ていると感じています。岡本先生の授業では、軌跡やパラメータの問題を扱う場合、最初にこれをやり、次に場合分けをして、この条件ならこう考えるといったような思考の流れを自分でノートにまとめていた記憶があります。法律の論文もこれによく似ていて、最初にあることが保障されているかを検討し、次に制約を受けているかを調べ、その次に審査基準を考える……といった順序というか一種のテンプレートがあり、それを理解してから当てはめていくような流れになっています。その意味で、数学の思考力というか、根本的な考え方を身につけることができたと思っています。

岡本 法律はまったくの素人ですが、論理的に筋道を立てて考えていくということは、どの科目でもどんな分野でも必要ですよね。そういう力を身につけるのに高校生活の時間をしっかり使えたというのは大変意義深いことだと思います。

生徒のことを第一に考えた 指導体制の構築に感謝

岡本 SEGに通っていて、ここが一番良かったと強く思うことがあれば教えてください。

北林 周りのレベルの高さです。高2の終わりくらいから英語多読が一番上のクラスに上がったのですが、周りの人の読んでいる本の厚さが自分とかなり違っていました。自分は薄いのに他の人は分厚いペーパーバック。そのことが





刺激となってモチベーションアップにつながりました。数学のテストゼミも全然できなかったにもかかわらず、講評のプリントで成績優秀者の得点を見て刺激を受けましたし、SEGにいるときは常に「頑張らなきゃ」って気持ちでいられました。そういうレベルの高い環境にいられたことが良かったと思います。

岡本 現在はオンラインで何でも聞けてしまう時代ですし、分かりやすい授業も大切ですが、やはり周りの仲間からいろいろな刺激を受けることも、塾に通う大きな意義の一つなのでしょうね。

山本 コロナ禍で対面授業ができない状況になったとき、SEGではいち早くオンライン授業にしてくださいました*。私は対面授業に行くのに勇気があるタイプだったため、授業の内容はもちろんですが、こうした素早い対応がとても嬉しかったことを覚えています。高3から別の教科で他塾に通い始めたのですが、SEGの方が生徒を第一に考えてくれている感じを強く受けました。

岡本 オンライン化するのとはすごく大変でしたが、頑張っていた良かったです(笑)。

永島 先生方は「復習をちゃんとしなさい」とはおっしゃるのですが、SEGの場合、やるかやらないかは基本的に自分次第というところがあると思っています。やれば、ちゃんと成績が上がり、やらなければ落ちることを経験したことで、勉強に自主的に取り組む習慣を身につけることがで

きたと思っています。

理数系が苦手な文系に 弁護士目指して法学部へ

岡本 文系志望に決めた時期と、志望校を具体的に決めた時期などを、理由とともに聞かせていただけますか。

碓 文系に決めたのは、高1の頃です。理科ができなくて、そのときはまだ数学もできなかったのも、理系は無理だと思い、消極的な感じで文系に決めました。志望校は、高1と高2のときに友人と一緒に大学の文化祭やオープンキャンパスなどを一気に回り、大学の持っている雰囲気志望校を決めました。当初は一橋志望で、東大を目指していたら一橋にも受かるのではないかと考え、とりあえずの東大志望という感じでした。しかし、気がいたら本当に東大を受けようという気持ちになっており、高3の春には完全に東大志望に決めました。

北林 高2で文理に分かれることになっており、そのクラス分けの前に文系に決めました。将来やりたいこともあったのですが、理数系に何となく苦手意識があったからというのが正直な理由です。学部に関しては、「SUITS」という当時見ていたテレビドラマで、弁護士になるのもいいかなと思い、法学部に決めました。志望校は高2の夏に東大

や一橋などの大学のオープンキャンパスを回って決めました。東大文Iはそのときの自分の中ではハードルが高かったため、とりあえず一橋を目指して、行けそうだったら東大志望に切り替えようと思っただけでしたが、結局ずっと一橋志望のままの受験生活でした。

山本 私の学校も高2で文理が分かれるため、高1の終わりに文系に決めました。中学の頃は数学が好きで理系に行くつもりで、数学をかなり勉強していました。けれども高校になってから文系科目も面白くなってきたため、文系志望に変えました。法学部を志望したのは、弁護士の父の影響もあります。父の話を知っているうちに法学部で勉強したいと思うようになったからです。志望校はずっと迷っていましたが、東大文Iの知り合いにいろいろな話を聞いているうちに魅力を感じ始め、最終的には高3の春に東大に決めました。

永島 中1くらいで何となく文系に進むことを決めていましたが、最終的に決定したのは高1の秋です。私はもともと何をやっても不器用で、定着するのに人よりずいぶん時間がかかるという自覚がありました。そこで、将来苦労しないためには、自分が将来やりたい職業→学部→大学というように逆算して注意深く進めていくことが必要だと考えました。まずは、地政学とか国際通商の弁護士に興味があったので法学部に決め、入りたい法律事務所とか弁護士の専門分野を考えると、東大に行っておくのが一番楽かなと考えて東大を志望することに決めました。高1のときに脳科学に興味が出てきて一瞬進路を迷ったこともありましたが、やはり自分の得意分野で勝負したいと思い、自分が得意そうなのは法学だと思い直して東大文Iに最終決定しました。

コロナ禍でもメンタルを整えながら 受験生活を乗り切る方法を工夫

岡本 ここからは受験勉強についてお聞きします。真剣に受験勉強を始めたのはいつ頃ですか。

碓 真剣にということであれば、高3の春頃だったと思います。それまでは塾の復習とか宿題をやる程度で、自主

的に勉強することはほとんどありませんでした。しかし、高3に入ってからは、自分でこれをやると決めて勉強することが多くなり、教科ごとに時間を決めて計画的に勉強するようになりました。

北林 高2の夏にオープンキャンパスに行き受検を意識し始めた9月頃に意識が芽生え、学校や塾で配られた参考書以外にも自分で単語帳を買ったりしながら受験勉強をスタートさせていました。しかし、本当に1日中勉強する状態になったのは、高2の終わりから高3の初めにかけての時期くらいからだと思います。

山本 1歳上の兄が受験の真最中で、その合格発表のあった2月くらいに来年は自分の番だということに改めて気づき、そこから少しずつ受験勉強に対してやる気が始まりました。その後コロナ禍で高3の最初から学校が休校になったため、そのタイミングで自分なりの受験勉強を始めることにしました。

永島 明確にこの時期から受験勉強を始めたという意識はありませんが、ギアアップしたのは高2の冬だったと思います。中3か高1くらいの時期に高3が受けるセンター模試を受けて恐ろしく悪い点数を取ったのですが、それでもまだまだ遊んでいました。ギアアップしたとはいえ、やりきれないときもありましたし、夜映画を観たりすることもたくさんありました。

岡本 受験勉強において苦労したことや悩んだことがあれば、具体的に教えてください。

碓 モチベーションの維持に一番手を焼いた感じがあります。高3に入っても集中力とか忍耐力がなくて、家で勉強していても、すぐにスマホに手が伸びたり、ゲームをしてしまったりしていました。また、どうしてもやる気が出ない日もありました。特に前日に頑張った翌日は「昨日やったから今日はまあいいか」という感じで、1日中ダラダラする日も結構ありました。そういう日をなくそうというか、モチベーションを保つことに苦労しました。

岡本 同じような悩みを抱えている後輩も多いと思います。どんな風に解決していったのかも教えてもらえますか。

碓 例えば、ゲームをしたり、スマホを触ったりして息抜きする時間と勉強する時間をきちんと分け、勉強時間をしっかり確保するようにしました。また、どうしてもやる気

が出ない日は、いつもと違う場所で勉強するようしたり、英語を勉強する計画の日にやる気が出ないときは好きな教科の勉強に切り替えたりして、勉強する時間数を確保するようにしていました。

岡本 計画通りに進めることにこだわりすぎずに、柔軟に対応したわけですね。やる気が出ないときは、諦めて息抜きすることも大切ですね。

北林 コロナ禍で勉強時間がイレギュラーになってしまったので、やはりモチベーションの維持が大変でした。ずっと家に1人なのでなかなか集中力を保つことは難しかったです。それこそ、スマホを触ることもありました。

岡本 スマホは勉強する道具でもあったりしますし、スマホを触らないというわけにもいきませんから、難しいことですよね。

北林 その時期はSEGが動画配信をしていましたから、それを視聴しているはずなのに、気づいたらYouTubeを見ていたか(笑)。それを自分で抑制するのはなかなか難しいものがあります。また、模試もなかなか良い判定が出ず、秋の模試でもD判定やE判定ばかりでメンタル的にもつらかったのですが、志望変更は考えずに突っ走りました。最終的には本番では数学が結構できて、余裕を持って合格できたので、それで良かったのかなと思います。

岡本 絶対受かってやろうという気持ちが人一倍強かったのかもしれないね。

山本 受験勉強を始めたときに休校期間と重なり、ずっと家にいる感覚とペースで受験勉強をしていたため、2学期になって学校の授業が再開されたときは、逆につらく感じました。自分のやりたい勉強の時間が、学校に行くために十分に取れないということが大きなストレスになり、2学期の最後の方はメンタルがおかしくなりそうでした。そこで「勉強計画表」みたいなノートを買って、そこに何時から何時まで学校に行き、その後少し休憩して、何の勉強をするということを書いて、心を整理するようにしました。

岡本 やるべきことをリストアップして、全部こなせなくても、優先順位をつけてしっかりやっついていかないと時間はあっという間に過ぎてしまいますからね。

永島 一番の悩みは、中高通してですが、自分のメンタルの弱さです。人一倍弱くて、ここが大事というときに限って、

学力よりもメンタルから先に壊れてしまうようなところがあり、ずっと悩んでいました。転機になったのは岡本先生のテストゼミで0点を叩き出したことです(笑)。

岡本 すみません、僕はそういうことに気を使わずに点数をつけてしまうので……(笑)。

永島 高2の冬から高3の初めにかけて一番成績が良く、そこからずっと下がりっぱなしで、どこまで下がるのだろうという感じでした。しかし0点を取ったことで「これ以上は下がりようがない」と開き直ることができました。そして、メンタルの弱さはよくよく考えても変えられないのだから、変えられないことはこれ以上考えず、変えられることを変えていこうという考え方に切り替えました。それに、メンタルも調整できることに気づきました。例えば、ここまで落ち込んだら、一晩勉強しないで遊ぶといったように決めると、それ以上の落ち込みを避けられます。リスクマネジメントとして一番効果的だったのは、東大が終わるまで併願校の合否結果を見なかったことです。実際には、早稲田が合格、模試での判定が良かった慶應が不合格だったのですが、もし東大の受験前にそれを知っていたら動揺して東大は落ちていたと思います。自分の弱さを知ったうえで、その弱さを補うことができたのです。



今もメンタルは弱いのですが、調整すれば何とかなるくらいの自信はつきました。

岡本 無理しない範囲で自分と上手に付き合っていくことが大事なのですね。テストゼミの点数を自分にとってプラスになるように前向きに受け取ってくれるのだということが分かったので、これからも後輩にはビシバシ厳しくしていこうと思います(笑)。

自分に合った試験戦略を 徹底的に磨けるテストゼミ

岡本 SEGのどんなところが具体的に大学受験に役立ち、合格につながったと思いますか。

受験までの私の勉強法 碓 翔太さん

東京大学文科Ⅲ類1年(私)芝卒

碓 具体的にはやはりテストゼミが一番役立ったと思っています。家では、問題4問を80分で解く、しかも緊張感のある場で解くという経験はできません。本番と同じように、どの問題を捨てるとか、これは難しそうだからあとで考えようといった実践的なことを何回もトレーニングできるチャンスがあったため、テストゼミの通りに解けば、40点くらいは取れるだろうと安心して本番に臨めました。問題の傾向が少し変わって難しくなりましたが、40点以上は取れました。岡本先生は高2の授業でもテストゼミ形式で問題を解く授業がありましたから、それもいい経験になっています。

北林 僕も直接的に受験に活かせたと思うのはテストゼミです。やはり場数を踏んで、実戦力がついたかなと。特に数学は、それまでどこをどういう順番で、何分で解いてい

質問項目

- ① 繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？
- ② 過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？
- ③ 共通テスト対策としてしたことは？
- ④ SEGの授業の予習・復習の仕方は？

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 基本的にはSEGの授業で済ませていました。春から夏にかけて「1対1対応の演習」を補助的に使っていました。 ② 過去問はSEGで部分的に扱ったもの以外は解いていません。 ③ 共通テストの数学はいつも時間がまったく足りなかったので、過去問や予想問題をとにかくたくさんこなして、速く解く練習をしていました。 ④ 予習は特にしていませんが、復習としてテストゼミで完答できなかった大問の解き直しなどをしていました。
英語	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 『鉄壁』『解体英熟語』『Vintage』『英文読解の透視図』を反復していました。また、英語は別の塾に通っていたので、その教材も使用していました。 ② 過去問は塾で部分的に扱った以外では解いていません。 ③ 共通テスト対策は特にしていません。
国語	★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 基本的に他塾の教材を使っていました。 ② 塾の演習で過去問を部分的に扱っていましたが、それとは別に古文漢文の過去問は10年分演習しました。 ③ 同じく塾の演習でセンターの過去問もたびたび解いていました。12月頃から高校で配られた古文漢文の共通テスト形式の予想問題を解いていました。
世界史	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 教科書(山川と実教のもの)と資料集(『タペストリー』)を読み込んでいました。 ② 他塾で扱っていたので、春から通して30年分くらいは解いていました。 ③ 2次試験の勉強をしていれば共通テストは自然に解けるようになっていたので、特に共通テストを意識した勉強はしていません。
地理	★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 『センター試験地理Bの点数が面白いほどとれる本』という参考書を使っていました。また、『地理の研究』という資料集をずっと読んでいました。 ② 過去問は秋頃から27年分解きました。 ③ 世界史と同じく、2次試験のための勉強をしていたら自然に共通テストもある程度取れるようになっていました。ただ、あまり安定はしなかったのでセンターの過去問も10年分ほどやっていました。
化学基礎	★★★★	高校の授業で十分だったのでほとんど時間を割きませんでした。
地学基礎	★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 物理基礎がまったく分からず、高3の11、12月頃に地学基礎に選択を変えたので、『地学基礎の点数が面白いほどとれる本』という参考書1冊を集中して使い、直前1週間で過去問や予想問題を急いで解いていました。

くかということを考えてことがなかったため、それを考えて問題を解く経験は貴重でした。また、添削でのフィードバックも丁寧にしてくださり、答案の書き方を学べるという意味でも実戦力がつきました。

岡本 夏までにしっかり基礎力を身につけたうえで参加してくれれば、テストゼミは実力も記述力もメキメキ上達するきっかけになるでしょう。英語多読はいかがでしたか。

北林 英語多読のテストゼミも役立ったのですが、英語は解く順番とか捨てる問題を考える教科ではなく、得意教科でもあったことから、基本的には全部解かなくてはなりません。しかし数学は、何かしら捨てなければならぬところがありますし、自分でできたと思っても採点者から見たらできていないという部分もありますから、その点で数学の方がテストゼミで学べたことが多かったように思います。

岡本 東大も一橋も独特のスタイルの入試問題ですから、時間の使い方も含めてかなりしっかり対策しておかないと、

難しい面もあるでしょうからね。

山本 テストゼミは2人が話してくれた通りです。他にはクリーム本です。何回も繰り返していると、クリーム本でやったような同じ傾向の問題によくぶつかり、ああこの問題だなと思いつつ解くことができました。また、多読で大量の英語に触れるため、英語の速読力が身につきました。長文読解のとき早く読み終わると問題を解くのに時間を使えるため、その点で良かったと思います。

永島 数学の学力に合わせてオーダーメイドの作戦みたいなものを一緒に考えてくださった岡本先生のご指導が具体的に役立ちました。私には40点を目指すような力はなく、安定して20点、30点を狙う感じでしたが、時間配分として下読みに何分かけるとか、過去問にはこう取り組むなど、具体的な方法を一緒に考えてくださいました。また、数学が苦手な私は、他科目もかなり頑張らないといけなかったのですが、他科目の心配までしてくださり、生徒一人ひと

受験までの私の勉強法 北林 大空さん

一橋大学法学部1年(私) 芝卒

- 質問項目**
- ① 繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？
 - ② 過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？
 - ③ 共通テスト対策としてしたことは？
 - ④ 学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 市販の問題集を使って基礎レベルの知識を身につけた後、クリーム本を繰り返し解いた。 ② 過去問は9月頃からセットで5年分ほど解いて、あとは単元ごとに(特に整数や微積)解いた。 ③ 共通テストの形式に慣れるためにセンターの過去問と予想問題を合わせて10年分ほど解いた。 ④ 共通テスト後に単元ごとに定石をまとめてそれを意識して演習を重ねる中で実力の伸びを感じた。
英語	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 『鉄壁』と『Vintage』を繰り返し読んだ。 ② 9月ごろから8年分ほど。 ③ 2次や私大に照準を合わせて勉強していれば共通テスト向けの特別な勉強は必要ないと思っていたので、演習はほとんどしなかった代わりに、共通テスト模試を定期的を受けて形式に慣れた。 ④ 高2の夏に多読と並行して単語や文法の勉強をしたことで、一気に実力が伸びたと感じた。
地理	★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 2次試験では使わない科目だったので『センター試験地理Bの点数が面白いほど取れる本』を1~2周読んだ程度。 ② センターの過去問と予想問題パックあわせて10~15年分くらい。 ③ 共通テスト直前期の演習で見つけた知識の抜けを埋めていく中で実力の伸びを感じた。
国語	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 『漢文ヤマのヤマ』『古文単語FORMULA600』を繰り返し読んだ。 ② 7月頃から10年分ほど。 ③ 共通テストで一番差がつきやすい科目だと思っていたので、対策には特に注力した。大問の解く順番(自分の場合は4→3→1→2)を決め、過去問、試行調査、予想問題を合わせて10年分ほど解いた。
世界史	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> ① 『世界史B講義の実況中継』を使って一通り流れを覚えた後、教科書と資料集をひたすら読みこんだ。 ② 9月くらいから20年分。 ③ 2次や私大に照準を合わせて勉強していれば共通テスト向けの特別な勉強は必要ないと思っていたので、形式に慣れるために過去問や予想問題パックを数年分解いた。 ④ 直前期に2次の頻出分野に絞って対策する過程でそれまでバラバラだった知識が体系的に結びつくのを感じ、実力が伸びたと思う。

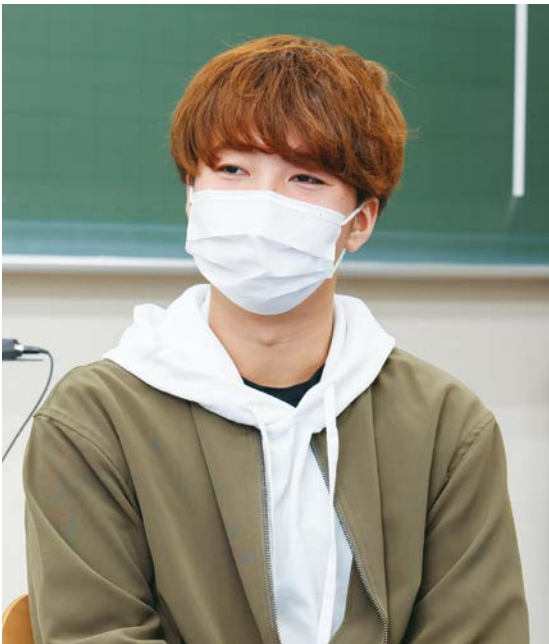
りに寄り添ってくださっているのがとても嬉しかったです。

岡本 東大も一橋も、何点を目標にするかによってまったく戦略が変わってきますから、自分に合った戦略を徹底的に磨けるのがテストゼミのいいところだと思います。ただ、それまでに基礎をしっかり身につけておかないと、みなさんのように有効に活用することは難しいでしょうから、夏までに復習を徹底しておくことが重要ですね。

自分から行動しないと 何も始まらない大学生活

岡本 今はコロナ禍で理想的な大学生活ではないとは思いますが、どのようなキャンパスライフを送っていますか。

碓 東大は基本的に語学と体育は対面で、僕は週3で対面授業があります。それ以外は基本的にはオンラインですから、あまり人と触れ合うことがありません。それでもクラスで集まってみんなで一緒にオンライン授業を受けるという流れになっていて、クラスの人とは結構会って話しています。また、サークルは基本的に対面で行うことができるので、完全オンラインでサークルも禁止になり大学



生活が面白くなかったという僕たちの1年上の先輩たちに比べると、それほど閉塞感を感じていない状況です。

北林 一橋は、クラス単位で受けるオールイングリッシュの授業と第二外国語が必修で、僕は週4で大学に通えているため、他の大学の人より人と会える機会は結構多いかなと思っています。大学生活については、東大の五月祭にあたる小平祭の実行委員をやってみたり、クラスの友人とM-1グランプリに出てみたりと、積極的にアクションを起こすようにしています。先ほど永島さんが、SEGは自分でやるかやらないかで違ってくると話していましたが、大学も同じで、自分から動かないと何も始まらないと痛感しているため、行動することを意識しています。

山本 週に2~3回大学に通ってはいますが、基本的に授業はオンラインですから、サークルの方が人と交流する機会が多いです。最初は家で授業を受けて、バイトして……という生活でしたが、北林くんが話した通り、自分が行動しなきゃ何も得られないと思って、思い切ってアコースティックギターのサークルに入り、大学生活を楽しむようにしました。そのサークルでLIVEに出るなど、積極的に行動しようと心がけています。

永島 授業スタイルは他の東大のみなさんと同じです。サークルは帝虎会に入っています。東京出身の阪神ファンはあまり近くにいないのですが、帝虎会はメンバー170人全員が阪神ファンというコミュニティで、10月は5回くらい野球を見に行くことができました。それが幸せでたまらないって感じです(笑)。勉強は法律を頑張っています。高校では自分の苦手な科目も勉強しなければならないのですが、大学では、自分の得意なこと、好きなことだけで勝負できるため、そのこともあって毎日充実しています。

岡本 それも中高で苦手な数学から目を背けずに自分なりの全力を尽くしたからこそ、得られた環境ですね。

SEGで身につけた姿勢や 思考力が大学で役立った

岡本 SEGで学んだことが大学で役立っていることはありますか。



碓 できなかった数学を、自分の努力でできるようにした経験をSEGですることができました。今、第二外国語がものすごく苦手で本当にやりたくないのですが、SEGの経験をもとに第二外国語も頑張ろうかなと思わせてくれた点で、役立っていると思います(笑)。

岡本 僕はフランス語で留年してしまいましたから、頑張ってください(笑)。

北林 SEGの外国人パートで外国人と英語でコミュニケーションをとるという経験があったため、大学のオールイングリッシュの授業でも人より積極的に発言できていると思います。また、簡単な英語の本から読み始めて、積極的に難しい本にも挑戦してどんどんレベルを上げていきながら力をつけていった経験があるため、自分で行動しないと始まらないという考え方をSEGで学べたかなと思います。

山本 秋semesterから数学の授業をとっているのですが、大学の数学はやはり難しく、先生がおっしゃっていることが分からないことがたくさんあります。しかしSEG時代に培った、暗記ではなくちゃんと理解しようとする気持ちで、ノートを見返すようにしています。

永島 先ほどお話しした、数学の根本的な考え方が法学と似ていることに気づいたことが良かったというのが一つ。もう一つは、受験で自分の弱さと向き合うことができ、それで合格できたため、これから困難なことにつづいても逃げずに、自分と向き合って乗り越えようという気持ちになれたことだと思います。

コロナが収束したら いろいろな人と交流したい

岡本 ところで、今一番やりたいことはなんですか。

碓 ウクレレサークルに入っているのですが、早く上手くなって、人前で弾けるようになりたいと思っています。

北林 今というより、数年後にはなると思いますが、国際経験を積むという意味で留学はしてみたいと思っています。大学の制度を使ってアメリカやイギリスなどの人気のある大学に留学しようとするれば、結構競争が激しいので、そこそこの成績を頑張って維持しながら、ぜひ行けるようになりたいと思っています。

山本 サークルも頑張りたいのですが、最近になって、小学生に勉強を教える「オンライン家庭教師」を始めました。私も受験期に知り合いの東大の方に、勉強のやり方などでとてもお世話になった経験があるため、私が受けた恩を、違う形で子どもたちに返せたらなと思っています。

永島 法律の勉強は楽しいし、弁護士にもなりたいので、今もやっていますが、これからも力を入れたいと思っています。コロナ禍でまったく友人が増えないため、落ち着いたら、人脈を増やすためにサークルを増やしてみるとか、違うコミュニティの人と話す機会のあるところに足を運んでみるといったことを積極的に行って、友人を増やしたいと思っています。

岡本 将来の夢について熱く語ってください。

碓 起業したいと思っています。就職には向いていないと思いますし、お金がたくさんほしいというか、自分でお金を持って、いろいろな形で社会に還元できる人になりたいと思っています。

北林 弁護士ドラマを見て法学部志望にしたわけですが、

現在は、法律系というよりは国際関係について学びたいと考えるようになってきました。一橋では、3年次から国際関係コースに所属できるため、将来は具体的に何をしたいと決めているわけではありませんが、そういった勉強をしたと考えています。

山本 私も弁護士は選択肢の一つに入っていますが、まだ決定ではありません。幼い頃から仕事をバリバリやるかっこいい女性に憧れていたため、そういう仕事が好きな人になりたいと思っています。

永島 渉外弁護士、国際通商の専門弁護士になりたいと思っています。英語力や国際的な見識も必要でしょうから、そういう教養も身につけたいと思っています。小さいときから不器用で苦労してきましたが、やることを取捨選択して頑張ればなんとかなると受験を通して学んだので、これからも頑張りたいと思っています。

詰め込み教育ではなく 楽しく学べるSEGへ、ぜひ

岡本 最後に後輩や入塾を検討している人にメッセージをお願いします。

碓 僕は数学が苦手な状態からSEGで数学を好きにな

り、成績も伸ばしていただきました。数学は得意でなくても好きになれると思いますし、数学を楽しめるようになりますから、数学に対してアレルギーを持っている人、特に数学が苦手で文系にしたという人は、SEGで数学を好きになってほしいと思っています。

北林 SEGには詰め込み感覚がなくて、自由のびのびと勉強できる環境が整っています。入塾を検討している人にはぜひお勧めしたいと思います。

山本 SEGは受験直前期を除いて、受験のための勉強、点を取るための勉強ではなく、楽しく学ぶことに一番力を入れている塾です。実際楽しくて、SEGに行きたくないと思ったことは一度もありません。楽しく受験勉強をした人にはSEGは最適だと思います。

永島 人の容量は限られているため、一番大事なことは、取捨選択だと思っています。どんなに不器用な人でも優先順位をつけてこれと決めて取り組めば、意外と器用にできる人よりもできることがあるということをSEGで実感として理解することができました。部活も勉強も頑張りましたというのは本当にすごいことだと思いますが、一つのやり方として、優先順位をつけて一番上のことに専心して取り組むということも、ありかなと思っています。

岡本 本日は、僕にとってもみなさんの後輩にとっても貴重な話を聞くことができました。ありがとうございました。

